文芸

山本有三記念館

三鷹市山本有三記念館 休館のお知らせ

休館期間 平成29年(2017年)6月1日(木)～平成30年(2018年)3月下旬

三鷹市山本有三記念館は、施設の改修工事実施のため長期休館いたします。
皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

＊展示室等、敷地内施設はご利用いただけませんが、有三記念公園は、
工事の状況によりご利用いただける場合があります。詳しくは、財団ウェブサイトでお知らせします。

休館中の連絡先 三鷹市芸術文化センター(山本有三記念館担当)
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-12-14 Tel:0422-47-9100

チケットのお求め方法 ＊発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター **Tel:0422-47-5122** (10:00–19:00)

窓口販売 販売場所 芸術文化センター / 三鷹市公会堂(さんさん館) / 美術ギャラリー 受付時間10:00–19:00
休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館) ＊美術ギャラリー臨時休館日 7/4(火)～8(土)

インターネット予約(要事前登録)
パソコン **http://mitaka-art.jp/ticket** 携帯 **http://mitaka-art.jp/ticket-m** (座席自動採番)

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます
口座番号〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156 加入者名 三鷹市芸術文化センター
＊備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に〈予約番号〉をご記入ください。＊振込手数料はお客様のご負担になります。
＊普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振り込みください。＊お振り込み後、10日程度でチケットをお届けします。

託児あり
公演事業では特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。
このマークがついている公演には託児サービスがあります。
料金:500円 対象:1歳～未就学児 定員:10名 お申込み:各公演の2週間前までに芸術文化センターへ

携帯電話QRコード

三鷹市芸術文化センター
JR三鷹駅南口2番乗り場から3つ目
「八幡前・芸術文化センター」下車すぐ。
または6・7番乗り場から「八幡前」下車1分
または徒歩約15分(三鷹駅から1.2km)

三鷹市公会堂
JR三鷹駅南口7番乗り場〈鷹54〉
または3番乗り場〈鷹66〉から「三鷹市役所前」下車すぐ。
(三鷹駅から2.3km)

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ
JR三鷹駅南口7番乗り場〈鷹54〉
または3番乗り場〈鷹66〉から
「三鷹市役所前」または「三鷹農協前」下車徒歩約5分
(三鷹駅から2.6km)

発行 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団
〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター内 http://mitaka-sportsandculture.or.jp/
2017.5.30
designed by Kentaro Kato, Fumiki Tomioka

June 2017
公益財団法人
三鷹市スポーツと文化財団
情報誌[マークルプラス]

MARCL+ 135

音楽・演劇・美術・文芸・スポーツ・生涯学習

《若葉の候》1974年 きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩 24.5×24.6cm
©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.

色あせない風景 滝平二郎の世界 展

2017年7月2日(日)まで開催中
三鷹市美術ギャラリー
Art P4

Pick up
フランチェスコ・トリスターノ(ピアノ) P1
ジョルディ・サヴァール(ヴィオール) P2
ホールのお仕事体験講座 P13

Music
アレクサンダー・クリッヒェル(ピアノ) P3

Theater
土田英生セレクション P5
劇団ままごと P7
CINEMA SPECIAL 三回忌・原節子 P9
桃月庵白酒 P11
柳家権太楼 P11
柳亭市馬 P12
寄席井心亭 P12

Art
色あせない風景 滝平二郎の世界 展 P4

Literature
企画展示予告 最晩年作「犯人」と「如是我聞」 P16
太宰治作品朗読会 P16
山本有三記念館 休館のお知らせ
＊裏表紙をご覧ください

Sports
スポーツ教室 P17

Lifelong Learning
『みたか学』(地域学)開講記念講演会 P19

公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

©Marie Staggat

Pick up

フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル

J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲

ピアニストで作曲家、アレンジャー、テクノ・ミュージシャンなど、さまざまな顔を持つ音楽家、フランチェスコ・トリスターノ。彼はバロックや現代音楽、テクノ、ダンス・ミュージックに精通し、自由で斬新な発想に基づく躍動感あふれる演奏で、各地の聴衆を魅了しています。

いまや、クラシック音楽とテクノの橋渡し役的な象徴として内外の音楽専門誌のみならずファッション誌でもその名が真っ先に挙げられるフランチェスコですが、昨年後半以降は、テクノ・ミュージシャンとしての顔が注目されました。デトロイト・テクノを牽引するデリック・メイと共演したライヴ『p:anorig』を行い、坂本龍一の「戦場のメリークリスマス」のカバーが話題となったアルバム『サーフェス・テンション』をリリース。今春発売のデトロイト・テクノ第二世代を代表するカール・クレイグの『ヴァーサス』（共演／指揮：フランソワ=グザヴィエ・ロト、管弦楽：レ・シエクル）にも参加。5月以降にはヴァーサス・シンセサイザー・アンサンブルの一員としてライヴも予定されています。

一方で、彼は長らく温めていた『Goldberg City Variations』という企画をスタートさせました。これは、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」の数学的な秩序と建築的な美しさに着目し、20世紀の作曲家で建築家としても知られたクセナキスが考えた「宇宙都市」のコンセプト、デッサンから着想を得た企画です。彼のゴルトベルクの演奏が同時にデジタル変換され舞台上のスクリーンに投影され、架空の宇宙都市が出来上がっていくこの企画のスイス初演を、筆者は昨年11月に体験しました。今回の三鷹公演では通常のリサイタル形式でのコンサートになりますが、バッハの音楽への深い洞察と憧れ、愛情が凝縮された演奏をお楽しみいただけるでしょう。

欧州で10年以上前から行われていたクラブDJとオーケストラとのコラボレーションは、ダンスフロアに集う聴衆をコンサートホールへと誘い、客席に熱狂の渦を巻き起こし、昨年ついにその波が日本にも押し寄せてきました。彼はまさに今、そのムーブメントの最前線を走っています。

「リサイタルを終えた同じ日の夜中にクラブでライヴもする、これが僕のスタイル」と言う彼は、この先、私たちにどんな音楽の世界、宇宙を見せてくれるのでしょうか。ぜひともご注目いただきたい公演です。

＊財団ウェブサイトに最新インタビューを掲載しています。

公演情報 **7月9日（日） 14:00開演** チケット発売中 全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。

会員S席4,050円・A席3,150円／一般S席4,500円・A席3,500円／＊U-23（23歳以下／S席・A席共通）2,500円

♪曲目
■第1部 J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲BWV988
■第2部 ギボンズ：ヴァージナルのために書かれた作品より
「パヴァン」「エアー」「フランス風エアー」「イタリア風グラウンド」「グラウンド」
フランチェスコ・トリスターノ：Circle Songs（2017）より ＊日本初演
Circle Song3 ～Heraklion～ All I have～ My old number ～Circle Song4
M.ロッシ：3つのトッカータ
ラモー：歌劇『カストールとポリュックス』より序曲（フランチェスコ・トリスターノによるオリジナル・ピアノ版）
フランチェスコ・トリスターノ：ラ・フランシスカーナ

Pick up

サヴァール・トリオ

ジョルディ・サヴァールは、1970年代頃から盛んに行われるようになったピリオド奏法（古楽奏法）──時代考証に基づき、音楽が作曲された当時の楽器、またはレプリカ楽器を用いて当時の奏法で演奏すること──を開拓した音楽家の一人です。バルセロナ音楽院でチェロを学び、卒業後に独学でヴィオール（イタリア語でヴィオラ・ダ・ガンバ）と古楽を学びました。

©Toni Figueras

■ヴィオール（ヴィオラ・ダ・ガンバ）はどんな楽器？

ヴィオールは、ヴァイオリンやヴィオラ、チェロ、コントラバスと同じように弓で弦をこすって演奏する楽器（擦弦楽器）で、膝または脚に挟んで演奏します。16世紀から18世紀にかけてヨーロッパで用いられた低音楽器で、織田信長や豊臣秀吉も聴いたことがあると伝えられています。大きさと音域により様々な種類のガンバがありますが、いずれも素朴で柔らかく、温かみのある音色が特徴です。サヴァールは今回、高い音域のトレブル・ヴィオールと、通常のヴィオールよりもサイズの小さなリラ・ヴィオールを演奏します。

■プログラムについて

今回のプログラムは、サヴァールが2008年と2010年に録音した2枚のアルバム（写真）から選ばれました。アイルランドが生んだ最大の吟遊詩人、オカロランが手掛けた舞曲、後世の人が編んだ曲集に収められた作曲者名不詳の音楽、アイルランドやスコットランドの伝統的な音楽などが演奏されます。いわゆる有名な曲は存在しませんが、これらはいずれもサヴァールの審美眼に叶った選りすぐりのものばかりです。

過去に三鷹市公会堂で開催したカルロス・ヌニェス（彼は何度もサヴァールと共演しています）や、アルタンの公演にご来場いただいたお客さまにも楽しめる内容です。

■サヴァールの最近の活動

近年のサヴァールは、自らの出身であるイベリア半島はもとより地中海沿岸諸国、アフリカ、中東、日本、中南米にいたるまで広範囲にわたる音楽を手掛けています。今年、彼は、奴隷制度をテーマに据え、1444年から1888年のマリ、ブラジル、コロンビア、メキシコ、アメリカ諸国の音楽を通して奴隷制を問うアルバムをリリースしました。移民や難民が大きな問題となっている現代社会にも相通じるテーマです。

ヨーロッパのとある会場で「音楽は宗教や民族を超えた対話の最後の機会」と語ったサヴァールは、私たちに音楽を通じて異なる文化を持つ人々との違いを認め、理解を深めることの大切さ、音楽を分かち合う喜び、そして音楽を知る歓びを改めて教えてくれる気がします。

サヴァールがいざなうケルト音楽の奥深い世界。皆さまのご来場をお待ちしております。

公演情報 **サヴァール・トリオ──ケルティック・ヴィオール**

9月16日（土） 15:00開演 チケット発売中 全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。

会員S席5,400円・A席4,500円／一般S席6,000円・A席5,000円／＊U-23（23歳以下）3,500円

出演
ジョルディ・サヴァール
（トレブル・ヴィオール＆リラ・ヴィオール）
アンドルー・ローレンス=キング
（アイリッシュ・ハープ、プサルテリ）
フランク・マグワイアー
（バウロン）

♪曲目
カレドニア・セット（ヴィオール＆ハープ）／
アイルランド伝承曲：音楽の司祭、スコットランドのメアリー、サッカウのジグ ほか
モイラ卿のセット（リラ・ヴィオール独奏）／ライアンの大コレクション：モイラ卿＆人力車 ほか
カロランのハープ（ハープ独奏）／スコットランド伝承曲：トゥーロッホゴルムのリール ほか
ラメント・セット／アイルランド伝承曲：タットルのリール ほか
カロランの好きなジグ（ヴィオール＆プサルテリ）／
カロラン：アビゲイル・ジャッジ＆ブランクスティ・ジャッジ ほか
ランカシャー・パイプス・セット（リラ・ヴィオール独奏）／アイルランド伝承曲：一杯のお茶 ほか
ドニゴール・セット（ヴィオール＆ハープ）／ドニゴール伝承曲：ガスティのうかれ騒ぎ ほか

Foto: Henning Ross

アレクサンダー・クリッヒェル ピアノ・リサイタル

アレクサンダー・クリッヒェル（ピアノ）

名門ソニー・クラシカルと専属契約を結ぶドイツの新鋭ピアニスト
瑞々しい感性と溢れる歌心のガーシュウィン、ラヴェル、ムソルグスキー

12月2日（土） 15:00開演

チケット発売日 会員6月7日（水）/ 一般6月13日（火）

全席指定 会員 S席4,050円・A席3,150円
一般 S席4,500円・A席3,500円
＊U-23（23歳以下/S席・A席共通）2,500円

♪曲目 ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー（ピアノ独奏版）
ラヴェル：夜のガスパール
ムソルグスキー：組曲『展覧会の絵』

託児あり ＊未就学児は入場できません。

美しい旋律とハーモニーの溢れる作品を、歌うように奏でることで瞬く間にヨーロッパの聴衆の心を掴んだピアノ界のライジング・スター、アレクサンダー・クリッヒェル。1989年にドイツ・ハンブルクで、ドイツ人の父とイタリア人の母のもとに生まれたクリッヒェルは、ロシア出身の二人の高名なピアニスト、故ウラディミール・クライネフとドミトリー・アレクセーエフに師事しました。弱冠22歳でSONYクラシカルと専属契約を結び、2年後の2013年には、権威あるドイツ・エコー賞で「ニューカマー・オブ・ジ・イヤー」を受賞。現在、最も期待される若手ピアニストの一人として注目されており、世界各国の著名な音楽祭やリサイタル、オーケストラ公演への出演オファーも続いています。

今回のプログラムは、今年没後80年のフランスの作曲家、ラヴェルを中心とし、彼に縁のある二人の作曲家、ガーシュウィン、ムソルグスキーの作品で組まれました。前半は、ラヴェルに管弦楽法の教えを求めたガーシュウィンが、「貴方は既に一流のガーシュウィンです。今さら二流のラヴェルになる必要はありません」と言われ、ジャズとクラシック両方のジャンルを横断する独自の道を歩み、生み出したヒット曲『ラプソディ・イン・ブルー』のピアノ独奏版と、華麗な演奏技術と極彩色に彩られた"音色の魔術師"ラヴェルの『夜のガスパール』をお贈りします。

後半は、そのラヴェルが管弦楽版を手掛けたことで広く世に知られるようになった、「ロシア五人組」（主に1850年代から70年代にかけて活躍した作曲家集団）を代表するムソルグスキーの組曲『展覧会の絵』をお聴きいただきます。これら19世紀後半から20世紀にかけての大曲3つを、クリッヒェルは定評ある繊細でクリアなタッチと多彩な音色のパレットで、鮮やかに感情豊かに描いていくことでしょう。

クリッヒェルは、実は数学オリンピックやドイツ政府主催の外国語コンクール、さらには生物学の研究活動を審査するコンクールでも入賞を果たし、ハンブルク大学の聴講生として数学を学んだこともあるという異色の経歴と才能の持ち主です。さまざまな才能を持ち合わせている中から、生涯を掛けて情熱を注ぐ職業としてピアニストの道を選んだ彼は、必ずや遠くない将来、名ピアニストのリストの中にその名を刻むことになるに違いありません。未来の巨匠の弾くラヴェルは必聴です。お聴き逃しなく！

色あせない風景 滝平二郎の世界展

《金魚》1971年
きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩
41.5×14.2cm

《霞ヶ浦にて》1955年 木版/和紙、油性墨一色摺り 45.5×35.0cm

7月2日（日）まで開催中

会場 **三鷹市美術ギャラリー** Tel:0422-79-0033
三鷹市下連雀3-35-1 ＊JR三鷹駅（南口）前CORAL 5階
開館時間：10:00–20:00（入館は19:30まで）
休館日：月曜日
観覧料：会員480円/一般600円
65歳以上・学生（大・高）300円
＊中学生以下および障害者手帳等をお持ちの方は無料
特別協力：滝平二郎事務所
協力：岩崎書店、福音館書店、株式会社キュレイターズ

《土橋》1951年
木版/和紙、油性多色摺り（合羽摺り）
18.9×23.0cm

《モチモチの木》1971年
きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩 28.5×48.5cm

木版画家であり〈きりえ〉の開拓者滝平二郎（たきだいらじろう）（1921–2009）の画業をふりかえる展覧会。知られざる初期の木版画から、〈きりえ〉へと移行した中期の絵本原画の数々、人気を博した新聞連載の原画まで、その詩情あふれる作品約200点をご紹介します。

©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.

皆が皆、精一杯生きる中での、人と人との切ないまでの関わりを、
時に温かく、時に軽妙に描ききる、土田英生の舞台。
その、土田英生の代表作にして、初演から20年近く経った今も、
まったく色褪せることのない、珠玉の会話劇『きゅうりの花』の上演です。

『きゅうりの花』
舞台写真（2002年）
撮影：谷古宇正彦

Cucumber＋三鷹市芸術文化センターPresents

土田英生セレクション vol.4

『きゅうりの花』

7月28日（金）～8月6日（日） 全11公演

作・演出 土田英生

出演 内田淳子、加藤 啓（拙者ムニエル）、
金替康博（MONO）、神田聖司、諏訪 雅（ヨーロッパ企画）、
千葉雅子（猫のホテル）、土田英生（MONO） ［五十音順］

	7/28（金）	29（土）	30（日）	31（月）	8/1（火）	2（水）	3（木）	4（金）	5（土）	6（日）
15:00		☆【託】	☆	休演			★		●	●
19:00		☆【託】◆							●	
19:30	☆				◆	◆		●		

【託】託児あり　☆早期観劇割引　★平日マチネ割引
◆終演後、アフタートークを実施いたします。
トーク出演者は決定次第、財団ウェブサイトやツイッターでお知らせします。

チケット発売日 会員6月23日（金）/ 一般6月24日（土）

全席自由 （日時指定・整理番号付）

【会員】前売3,400円・当日3,600円
【一般】前売3,800円・当日4,000円
【学生】2,000円（前売・当日とも）
【高校生以下】1,000円（前売・当日とも）
☆早期観劇割引 ★平日マチネ割引 の公演は、会員・一般のみ各400円引き

託児あり ＊7/29（土）のみ

土田英生セレクションとは

劇作家・演出家の土田英生が、過去に発表した自作をリライト（再創作）し、自身が望んだ俳優・スタッフと舞台を創作する企画。これまでに、三鷹市芸術文化センター星のホールで『一初恋』（2010）、『燕のいる駅』（2012）『算段兄弟』（2015）を上演し、今回が4回目の公演となる。

HP | http://www.c-mono.com
Twitter | @hideoselection

VOL.2
「燕のいる駅」
2012年5月

VOL.3
「算段兄弟」
2015年7～8月

撮影：谷古宇正彦

『きゅうりの花』あらすじ

《下河部町》という小さな町がある。後継者の不在や嫁不足に悩む過疎の町だ。
この町の文化施設では青年会のメンバーたちがサークル活動をしている。
青年会とは呼びつつも平均年齢は高く、その定義は曖昧だ。
ある日、町の活性化を図るためのイベントとして、
地元に伝わる民謡をアレンジした踊りを、
東京で踊ろうという話が持ち上がるのだが……。

その土地から離れられない者、その土地に新たに住み始めた者、
その土地に絶望している者、その土地に馴染もうと懸命に努力する者。

様々な思いが交錯する中、イベントの日はやってきた。

土田英生

『きゅうりの花』
舞台写真（2002年）
撮影：谷古宇正彦

土田英生プロフィール

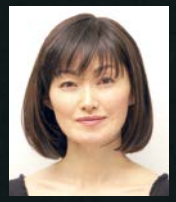
1989年に「B級プラクティス」（現MONO）結成。1990年以降全作品の作・演出を担当する。『その鉄塔に男たちはいるという』（1998）で第6回OMS戯曲賞大賞を受賞。文学座『崩れた石垣、のぼる鮭たち』（2001）、MONO『チェーホフを待ちながら』（2009）がそれぞれ文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。その他、『斉藤さん』シリーズ（NTV）、『約三十の嘘』（映画）などテレビドラマ・映画脚本の執筆も多数。2017年、小説『プログラム』を上梓。

今回の公演に寄せて、土田英生さんからのメッセージ

出世作と呼ばれる作品がどの劇作家にも存在するとすれば『きゅうりの花』が私にとってはまさにそれです。昔、上演した後の手応えを懐かしく思い出します。自画自賛になるのは嫌だけれど、オーソドックスな手法で書かれた、ウェルメイドな作品だと改めて思いました。この作品を実力派ばかりの新たなキャストで上演できることがとても嬉しい。きっと面白い作品になりますので、楽しみにしてください。

『きゅうりの花』
舞台写真（2002年）
撮影：谷古宇正彦

『きゅうりの花』CAST



内田淳子

加藤 啓

金替康博

神田聖司

諏訪 雅

千葉雅子

夏、未来、宇宙。
火星移住が進み、過疎化した地球に残された高校生たちは文化祭の準備に明け暮れていた。
夏休み最終日、スピカはたったひとりの同級生に転校を告げ、姿を消す。
片思い、叶わぬ夢、帰れない場所。
オーバー・ダビングされた思い出たちが宇宙の片隅で再生される。
星に引力があるように人にもきっと引力がある。
たとえどれだけ離れても、あなたはずっとわたしの星。

photo: Hamada Hideaki

★「わたしの星」

夏の空、高校生たちの星間飛行。

時報を合図に少女と星の一生を描いた、柴幸男の岸田國士戯曲賞受賞作『わが星』。人間が生まれてから死ぬまでの100年、地球が生まれてから死ぬまでの100億年を、団地に住む一家を軸に描き、これまで3度上演を重ねています。
『わたしの星』は、その世界観を引き継ぎ、一般公募で選ばれた高校生キャスト&スタッフと柴の共作により、2014年に初演されました。火星への転校と、文化祭での発表をめぐる、高校生たちの1日を描いた本作。今回は、現役高校生のキャスト&スタッフを再び公募し、新たなメンバーで上演に挑みます。

今回の公演に寄せて、柴幸男さんからのメッセージ

2014年、高校生たちとの創作によって『わたしの星』は生まれました。本作は劇団としての新作でありながら、未来の高校生たちが上演できる作品としてつくったつもりです。あれから3年、ありがたいことに多くの高校生たちが本作を上演してくれました。よって、本作の一定の役目は果たされたと思います。というわけで、今回は、未来の高校生のことなど一切忘れて、今の高校生たちと好き勝手につくりたいと思います。僕が演劇をつくりはじめたのは高校二年生のとき。あのときの自分はもちろん、今の自分が一番わくわくできるような、そんな演劇にしたいと思います。

ままごと プロフィール

劇作家・演出家である柴幸男の作品を上演する団体。
2010年に『わが星』で第54回岸田國士戯曲賞を受賞。
劇場作品に加えて、近年は小豆島や横浜などの公共空間で、"その時、その場所で、その人たちとしかできない演劇"の上演もしています。
演劇を「ままごと」のようにより身近に。より豊かに。

HP | www.mamagoto.org
Twitter | @mama_goto

photo: Hamada Hideaki

劇団ままごと
『わたしの星』

2014年に初演され、高校生のみCAST 10人の出演と、高校生STAFF 5人の参加で、夏休みの終わりの高校生たちの1日を描き、大きな話題を呼んだ「わたしの星」。初演から3年たった今年の夏、現役高校生のキャスト&スタッフを再び公募し、新たなメンバーで上演に挑みます! ご期待ください!

8月17日(木)～27日(日) 全12公演 作・演出 柴 幸男

柴 幸男

高校生CAST 池田衣穂、太田 泉、須藤日奈子、関 彩葉、田井文乃、土本燈子、成井憲ニ、日比楽那、札内萌花、松尾 潤

高校生STAFF 《劇作演出部門》圓城寺すみれ、小笠原 里、塚田真愛、松川小百合
《運営部門》大鋸塔子、谷川清夏、鶴飼奈津美

2014年初演より 撮影/青木司

	8/17(木)	18(金)	19(土)	20(日)	21(月)	22(火)	23(水)	24(木)	25(金)	26(土)	27(日)
14:00	●	●	●【託】	●	休館日		●【託】		●	●	●
19:30			●【託】			●		●		●	

【託】託児あり

＊終演後、作・演出の柴幸男さんと高校生キャストや高校生スタッフによる、アフタートークを実施する回がございます。開催日など詳細が決定次第、財団ウェブサイトやツイッターでお知らせします。

チケット発売日 会員6月23日(金) / 一般6月24日(土)

全席自由 (日時指定・整理番号付) 託児あり ＊8/19(土)、23(水)のみ

【会員】前売2,200円・当日2,700円 【一般】前売2,500円・当日3,000円
【学生】1,500円(前売・当日とも) 【高校生以下】1,000円(前売・当日とも)
【小・中学生】500円(前売・当日とも)

公開稽古 8月13日(日) 14:00–16:00 要予約(定員制) 0422-47-5122
入場無料 予約開始日:会員6月23日(金) / 一般6月24日(土)
＊稽古内容は未定です。あらかじめご了承ください。(作品の一部分を稽古している様子をご覧いただきます)

もう一度、会いたい。

平成二十七年九月五日。

多くの人々の、女優・原節子への再会の願いを叶えること無く、
一人の女性として、会田昌江は、静かに、その生涯を閉じる。

享年、九十五歳。

それはまるで、ただの一度も引退の言葉を口にすることなく、
四十二歳の若さで銀幕を去った、あの時のように。静かに。

三回忌、原節子。

もう一度、会いたい。

CINEMA SPECIAL

三回忌・原節子

「麥秋」©1951松竹株式会社

【原 節子】

1920年(大正9年)6月17日、
神奈川県橘樹(たちばな)区保土ヶ谷町(現在の横浜市保土ヶ谷区)に生まれる。
本名、会田昌江(あいだまさえ)。1935年(昭和10年)8月、15歳の時に、
田口哲監督作品『ためらふ勿れ若人よ』でデビュー。
その映画での役名「節子」をもとに、当時の撮影所長が
「原 節子」の芸名をつけ、以後、スタッフからは「お節っちゃん」と呼ばれる。
その後、生涯で100本を超える映画に出演したが、1962年(昭和37年)11月に
封切られた稲垣浩監督作品『忠臣蔵 花の巻、雪の巻』を最後に、
42歳の若さで銀幕から去り、以後、表舞台に出ることは一切無かった。
2015年(平成27年)9月5日死去。享年95歳。

「三回忌・原節子」プログラム

日程	作品名	監督	製作年	チケット発売日
5月13日(土)	『河内山宗俊』 『巨人傳』	山中貞雄 伊丹万作	1936 1938	—
6月10日(土)	『母の曲(総集篇)』 『わが青春に悔なし』	山本薩夫 黒澤 明	1937 1946	発売中
7月22日(土)	『安城家の舞踏会』 『晩春』	吉村公三郎 小津安二郎	1947 1949	会員6月8日(木)／一般6月9日(金)
9月23日(土・祝)	『青い山脈』 『続青い山脈』	今井 正 今井 正	1949 1949	会員7月20日(木)／一般7月21日(金)
10月14日(土)	『誘惑』 『白痴』	吉村公三郎 黒澤 明	1948 1951	会員9月21日(木)／一般9月22日(金)
11月18日(土)	『お嬢さん乾杯』 『麥秋(ばくしゅう)』	木下恵介 小津安二郎	1949 1951	会員10月12日(木)／一般10月13日(金)
12月16日(土)	『東京の恋人』 『めし』	千葉泰樹 成瀬巳喜男	1952 1951	会員11月16日(木)／一般11月17日(金)
2018年 1月27日(土)	『驟雨(しゅうう)』 『東京物語』	成瀬巳喜男 小津安二郎	1956 1953	会員12月14日(木)／一般12月15日(金)
2月17日(土)	『女であること』 『智恵子抄』	川島雄三 熊谷久虎	1958 1957	2018年 会員1月25日(木)／一般1月26日(金)
3月10日(土)	『娘・妻・母』 『秋日和』	成瀬巳喜男 小津安二郎	1960 1960	会員2月15日(木)／一般2月16日(金)

各回2本立て / 昼夜入替制 / 1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり
全公演 昼の部11:00 / 夜の部16:00 上映開始 *未就学児は入場できません。

全席指定 各回 会員900円/一般1,000円/学生800円

特別協力：東京国立近代美術館フィルムセンター　協力：東宝株式会社、松竹株式会社、日活株式会社

【お客さまへ】
上映に際しましては、試写を行うなど最善を尽くしておりますが、製作年数が古いため、フィルムの状態（映像・音声等）が悪い場合がございます。ご了承のうえ、ご覧いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

チケット発売中　6月10日(土)

	分数	昼の部	夜の部
母の曲(総集篇)	91	11:00–12:31	16:00–17:31
わが青春に悔なし	110	13:05–14:55	18:05–19:55

母を思いやり、常に明るく生きる女学生を原節子が好演する、親子の絆の物語。

©1937東宝株式会社
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

『母の曲(総集篇)』(1937年/東宝/91分/白黒/35mm)

NFC

監督：山本薩夫　原作：吉屋信子　脚本：木村千依男、八住利雄
出演：原 節子、英 百合子、岡 譲二、入江たか子、丸山定夫、三島雅夫

女工時代に見初められ、新進気鋭の学者のもとに嫁いだ"お稲"。しかしそこに待っていたのは、上流階級婦人たちの冷たい視線であり、彼女は次第に心も体も疲れ果てていき……。そんな母親を思いやり、時にはその辛い思いを慰めながら、何があっても明るく女学校に通う娘を原節子が好演。ラストシーンに至る、母と娘の絆の物語を、見事に紡いでいく。

黒澤明監督作品に初めて出演した原節子が、「女性の自我」を見事に演じ切る。

©1946東宝株式会社

『わが青春に悔なし』(1946年/東宝/110分/白黒/35mm)

監督：黒澤 明　脚本：久板栄二郎
出演：原節子、藤田 進、河野秋武、大河内傳次郎、志村 喬、杉村春子

昭和8年に起こった「滝川事件」や、その後の「ゾルゲ事件」をもとに作られた、黒澤明監督の戦後第一作。自由主義追放の嵐が吹き荒れる中、大学を追われることとなった教授の娘を演じた原節子は、これが黒澤明作品への初出演。「自我の強い女性を描きたい」と作品に挑んだ黒澤の思いに、原は、驚くほど鋭い眼光で、見事に応えてみせた。

7月22日(土)

チケット発売日 会員6月8日(木)/一般6月9日(金)

	分数	昼の部	夜の部
安城家の舞踏会	89	11:00–12:29	16:00–17:29
晩春	108	13:05–14:53	18:05–19:53

没落貴族の娘を原節子が気高く演じ、キネマ旬報ベスト・テン第一位に輝いた傑作！

©1947松竹株式会社

『安城家の舞踏会』(1947年/松竹大船/89分/白黒/35mm)

監督・原作：吉村公三郎　脚本：新藤兼人
出演：原 節子、滝沢 修、森 雅之、逢初夢子、津島恵子、清水将夫

戦後、華族制度の廃止に伴い、名門貴族であった安城家も没落の一途をたどる。しかし、華やかりし頃を知る者にとって、現実を受け止めることは容易ではなく、失意の果てに「最後の舞踏会」を開くことを決めた父と娘は……。絶望の中でも決して自分を見失うこと無く、希望への糸口を見据える娘を、原節子が時に気高く、時に激しく演じ切る。

父と娘の心の軌跡を丁寧に描いた、記念すべき、原節子初の小津安二郎監督作品。

©1949松竹株式会社

『晩春』(1949年/松竹大船/108分/白黒/35mm)

監督：小津安二郎　原作：廣津和郎　脚本：野田高梧、小津安二郎
出演：原 節子、笠 智衆、月丘夢路、杉村春子、三宅邦子、三島雅夫

早くに母が亡くなり、長年、父と二人で暮らしてきた紀子は、自分が嫁いだ後のことを思うと、結婚に躊躇いを覚え……。原節子が初めて小津安二郎監督作品に出演した、記念碑的作品。主人公「紀子」の名は、後に『麦秋』『東京物語』においても原節子に用いられ、世に「紀子三部作」と呼ばれることとなる。1949年度キネマ旬報ベスト・テン第一位。

撮影：橫蓮二

待ってました の、独演会
癖になります、桃月庵白酒

桃月庵白酒（とうげつあんはくしゅ） 独演会

9月2日（土）14:00開演 託児あり ＊未就学児は入場できません。

チケット発売日 会員6月17日（土）/ 一般6月22日（木）

全席指定 会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

出演：桃月庵白酒、のだゆき（音楽パフォーマンス）、ほか

毎年春に開催している、三遊亭兼好師匠との二人会も毎回大盛況の中、
まさに満を持して、桃月庵白酒師匠の、三鷹で初めての独演会です。
力みの無い柔らかな語り口から、時折こぼれ落ちる毒が堪らない、
一度聴いたらもう病みつきの実力派、桃月庵白酒の世界をお楽しみください。

たっぷり笑わせ、しっとり泣かす
円熟の語り、柳家権太楼

柳家権太楼（やなぎやごんたろう） 独演会

9月24日（日）14:00開演

チケット発売日 会員6月17日（土）/ 一般6月22日（木）

全席指定 託児あり ＊未就学児は入場できません。

会員2,700円 / 一般3,000円 / 学生2,000円 / 高校生以下1,000円

押しも押されもせぬ寄席の華、柳家権太楼師匠。
爆笑に次ぐ爆笑の滑稽噺から、ふと涙が頬を伝う人情噺まで、
円熟の語り口で魅了する、権太楼師匠の落語を、たっぷりとご堪能ください。

利益の発生するチケットの転売を禁止いたします

インターネットオークションや金券ショップ等における、利益の発生するチケットの転売は、いかなる理由においても固くお断りいたします。

予告 次号『MARCL+ 136』（7月11日発行）にて発売予定の主な落語公演

●春風亭一之輔独演会	11月 11日（土）	14:00	星のホール
●三遊亭兼好独演会	11月 23日（木・祝）	15:00	星のホール

ほか

秋空の如く、天高く
心晴れ晴れ、市馬の落語

柳亭市馬（りゅうていいちば） 独演会

撮影：御堂義乗

10月15日（日）14:00開演 託児あり ＊未就学児は入場できません。

チケット発売日 会員6月17日（土）/ 一般6月22日（木）

全席指定 会員2,700円 / 一般3,000円
学生2,000円 / 高校生以下1,000円

出演：柳亭市馬、新山ひでや・やすこ（漫才）、ほか

まさに、真一文字に打ち込まれた竹刀の如く、ぶれることの無い高座の姿。
通を唸らせつつも、落語は初心者という方も大満足の、まさに古典落語の真骨頂。
秋風が心地良き頃、柳亭市馬師匠の落語で、心晴れやかなひと時を、お過ごしください。

毎回必ず独演会

寄席井心亭（よせいしんてい）

座布団百枚のお座敷で聴く、生声での落語が魅力の寄席井心亭。
ご贔屓（ひいき）の方も、初めてという方も、ぜひ足をお運びくださいませ。

数えて二百七十夜・師走

柳家喬太郎（やなぎやきょうたろう）

12月20日（水）19:00開演 予約1回 2枚まで

チケット発売日 会員6月13日（火）/ 一般6月14日（水）

会場 みたか井心亭 三鷹市下連雀2-10-48 ＊JR三鷹駅南口より徒歩15分。

全席座布団自由 会員1,800円 / 一般2,000円 / 学生1,000円

＊寄席井心亭では電話とインターネット（パソコン・携帯）での発売枚数の割合を50％ずつとさせていただきます。
（会員発売日は各45枚ずつとなります）

予約1回 2枚まで

予約1回あたりの購入枚数制限について
このマークの公演は発売初日に限り、1回の電話（またはインターネット）での購入可能枚数に制限がございます。制限枚数以上をご希望の場合は、再度電話をいただく（インターネットでは初期画面から操作を行う）必要がございますのでご了承ください。

三鷹のこども寄席

ぼくも、わたしも、寄席で大笑い！ 柳家喬太郎さんの落語で大笑いするのだ!!

その18

関連企画 “未就学児の回”の案内係の小学生募集!!

みんなで一緒に、お客さまをお迎えしよう！

『三鷹のこども寄席』の「未就学児の回」では、毎年、約10人の小学4年生から小学6年生が、お客さまの案内係を務めてくれています。昨年の案内係のお仕事の様子を、ご紹介します。

9:30 集合

案内係の子どもたちの集合は、午前9時30分。皆、最初は少し緊張気味です。一人ずつ自己紹介をして、お揃いのはっぴを着て、まずは、当ホールの職員やレセプショニストから、6つのお仕事を、習います。客席の一番前で、みんなで「お客さまへのお願い」を言う練習も、しっかりやります。

スタッフのお姉さんから、優しく教えてもらいます。

10:30 開場

いよいよ開場です。先に習った6つの仕事を5分ずつ、移動しながらすべて体験します。

チケット受付
「○○様ですね、お待ちしておりました。○枚で○○○○円になります。」

こども寄席の「未就学児の回」にいらっしゃるお客さまは、ぜひ、元気に頑張る案内係の子どもたちの姿も、楽しみにしてもらえたらと思います。

最後はみんなで、記念写真。

12:30 お仕事終了

無事、お仕事が終わりました。最初は緊張気味だった小学生たちも、次第にどんどん慣れていって、みんな大きな声で案内係を努めてくれました。ありがとうございました。お疲れさまでした。

「アンケートの回収にご協力ください！」

12:00 終演

公演が終わりました。アンケートを回収したり、クロークのお荷物を返したり、座布団を受け取ったり、案内係はものすごい忙しさです。

昨年参加してくれた、案内係の小学生の感想

「席を教えてください」と言われ、教えたら「ありがとう」と言われたのがうれしかったです。
（小5・女子）

お客さんにお願いや注意を言うのはとてもむずかしかったけど、最後には大きな声ではきはきと出来たので良かったです。
（小5・女子）

とてもやりがいがあって、とくに物品販売が楽しかったです。よく売れて商売はんじょうでした。ぶたいうらも見学できてうれしかったです。
（小5・男子）

一つの公演に、こんなにもたくさんの人が関わっていることを知り、おどろきました。どれもが忘れられない思い出になりました。ありがとうございました。
（小5・女子）

「本日の公演のパンフレットです」

チケットもぎり「チケットを拝見します！」

物品販売
「三鷹の絵はがき、いかがですか！」

場内誘導
「お席にご案内いたします」
「小さなお子さまが見えやすいように、座布団をお配りしております！」

クローク
「お荷物、お召し物、お預かりしております！」

【今年の案内係は、只今応募受付中です！】
応募締切 6月20日（火）消印有効！
＊応募者多数の場合は抽選となります。

11:00 開演

いよいよ開演です。全員で客席の最前列に並んで「お客さまへのお願い」を言います。

「携帯電話の電源をお切りください!!」

「チラシの束作り、大変だけど楽しい！」

公演中

いよいよ公演が始まりました。案内係は公演中も、午後からの「小学生以上の回」のチラシ束を作ったり、舞台の袖を見学したり、照明操作の部屋や音響操作の部屋を見学するなど、体験することが盛りだくさんです。

申込方法はP15をご覧ください ▶

三鷹のこども寄席

関連企画

"未就学児の回"の案内係の小学生募集!!

みんなで一緒に、お客さまをお迎えしよう!

7月9日(日) 往復はがき申込

9:30 星のホール集合(12:30 終了予定)　参加費無料

対象・定員:小学校4～6年生・10人(応募多数の場合は抽選)

体験内容

- ★チケットの引き換え
- ★当日券の販売
- ★入口でチケットもぎり
- ★パンフレットのお渡し
- ★客席へのご案内
- ★クローク係
- ★開演前に注意事項の説明
- ★終演後のアンケートの回収　ほか

申込方法

往復はがきに、①催し物名「こども寄席案内係」、②住所、③お子様の名前(フリガナ)、学年(兄弟でお申込の場合は、1通のはがきに、全員分お書きください。)、④保護者の氏名(フリガナ)と電話番号、⑤保護者の方がマークル会員の場合は会員番号をご記入ください。

*返信の表面にも(住所・氏名)をお書きください。*お友達同士でのお申込みは、別々のはがきでお申込みください。

【宛先】〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14　三鷹市芸術文化センター「こども寄席案内係」宛

【締切】6月20日(火)消印有効　*応募多数の場合は、抽選となります。*抽選結果の葉書は、6月27日(火)に投函します。

【ご注意】終演時間まで、色々なお仕事を体験していただくため、参加者は11:00からの公演を、客席で観ることはできません。
*お仕事中の、保護者による写真やビデオ撮影はご遠慮ください。財団で撮影した写真と映像を、後日プレゼントいたします。

出演
柳家喬太郎(落語)、
のだゆき(音楽パフォーマンス)、
柳家小太郎(落語)

公演情報　三鷹のこども寄席

ぼくも、わたしも、寄席で大笑い! その18
柳家喬太郎さんの落語で、大笑いするのだ!!

7月9日(日)

●未就学児の回 11:00開演(約1時間・休憩なし)

全席指定　会員900円/一般1,000円
小・中学生500円/未就学児無料
0歳～入場可　*ロビーに、おむつ替えのコーナーもございます。

完売御礼

●小学生以上の回 14:00開演(約2時間・休憩あり)

全席指定　会員1,800円/一般2,000円
小・中学生1,000円
託児あり　*小学生以上の回のみ

残席僅少

太宰治文学サロン　企画展示予告

最晩年作「犯人」と「如是我聞」

6月6日(火)～10月9日(月・祝)

太宰治が亡くなったのは、昭和23(1948)年6月。毎年、生誕日であり遺体が発見された6月19日に、墓所の禅林寺では桜桃忌が営まれています。全国から三鷹市に太宰の愛好者が集うこの時期、太宰治文学サロンでは、晩年の太宰の活動に焦点をあてた、企画展示を開催します。

太宰治作品朗読会

各回18:00開演(18:50終演予定)

第87回 7月21日(金)

出演 中村雅子(元福島テレビアナウンサー、朗読家)

朗読作品「帰去来」

太宰作品の朗読をライフワークに幅広く活躍する、中村雅子さんの朗読です。これまで、津軽弁を織り交ぜた「津軽」「雀こ」をはじめ、「黄金風景」「不審庵」「故郷」など、数々の作品を太宰治文学サロンで朗読し、好評を博しています。太宰と同郷の朗読家・中村さんの語りをご期待ください。

第88回 8月18日(金)

出演 八十川真由野(文学座所属俳優)

朗読作品「花燭」

写真提供:文学座

舞台、声優とマルチな活躍をしている八十川真由野さんの朗読です。「花燭」は昭和14年5月に刊行された『愛と美について』に収録された作品です。新婚の太宰が、自身の過去を交えながらも再生を誓うかのような清々しい作品を、八十川さんの美声でぜひ、ご堪能ください。

応募締切:第87回 7月11日(火)必着/第88回 8月8日(火)必着　定員:各回25名　**参加費無料**
応募方法:往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、④返信用はがきに宛先をご記入の上、下記太宰治文学サロン「第○○回朗読会係」宛にお送りください。
*ご応募は各回につき、お1人様1通のみ。　*応募者多数の場合は抽選。

申込・問合せ　太宰治文学サロン　Tel:0422-26-9150　入館無料
〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階　開館時間:10:00–17:30
休館日:月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)　*6月19日(月)は桜桃忌のため開館します。

7月開講（7月～9月）スポーツ教室のお知らせ

第2期スポーツ教室の申し込みを6月5日から開始します。

【申込受付期間】6月5日（月）～6月18日（日）
【抽選日】6月23日（金）
【支払方法】元気創造プラザ1階受付にて、6月24日（土）～7月2日（日）の期間内にお支払いください。＊6/26（月）は休館日です。

初心者向け

ステップエクササイズ

脂肪燃焼系プログラム

7/19～9/30（全3コース）
水 18:45–19:45
金 10:50–11:50
土 10:50–11:50

対象：16歳以上
定員：各30名
参加費：各コース 全11回／9,600円

音楽に合わせてステップ台への昇降運動を繰り返します。3か月間同じ音楽と動きで行いますので、初めての方でも安心してご参加いただきます。

男性ヨガ入門

ヨガ・ストレッチング・トレーニング系プログラム

7/21～9/29
金 20:00–21:00

対象：16歳以上（男性限定）
定員：60名
参加費：全11回／9,600円

ヨガをやってみたいけれど、女性中心の教室に参加するのはちょっと… というはずかしがりやの男性のためにご用意しました。

スムースモーション

コンディショニング・機能改善系プログラム

7/16～9/29（全3コース）
火 9:40–10:40
金 18:45–19:45
日 10:45–11:45

対象：16歳以上
定員：各30名
参加費：各コース 全11回／9,600円

凝り固まった筋膜をほぐし、動きを良くするトレーニングを行います。ケガや痛みを予防・改善したい人や、よりアクティブに動きたい人にお勧めです。

成人バレエ

カルチャー系プログラム

7/16～9/24（全2コース）
日 14:15–15:15
日 15:30–16:30

対象：16歳以上（女性限定）
定員：各30名
参加費：各コース 全11回／13,000円

優雅な音楽の中で伝統的なバレエのテクニックを習得するスクールです。

アクアウォーク＆ジョグ

プールプログラム

7/19～9/28（全2コース）
水 14:15–15:00
木 11:00–11:45

対象：16歳以上（女性限定）
定員：各40名
参加費：各コース 全11回／9,600円

水の中をさまざまな方法で楽しく歩いたり、走ったりします。脂肪燃焼や柔軟性の維持、向上に効果的です。泳ぐのが苦手な方、足腰への負担が気になる方にお勧めです。

成人スイム

スイミング系プログラム

7/16～9/29（全6コース）
火 13:30–14:30
中級クロール・背泳ぎ
水 19:30–20:30
初級クロール
木 11:45–12:45
中級クロール・背泳ぎ
金 11:00–12:00
初級クロール・バタフライ
金 19:30–20:30
初級平泳ぎ・背泳ぎ
日 11:40–12:40
初めてクロール＊

対象：16歳以上　定員：各30名
参加費：各コース 全11回／9,600円
＊「初めてクロール」のみ 全7回／6,100円

初めての方からレベルアップを図りたい方まで泳力・目的に合わせてご指導いたします。

アクアダンス

プールプログラム

7/16～9/26（全2コース）
火 12:45–13:30
日 12:50–13:35

対象：16歳以上
定員：各40名
参加費：火曜日コース 全11回／9,600円
日曜日コース 全7回／6,100円

音楽に合わせて動きの組み合わせを楽しむアクアエクササイズです。脂肪燃焼を促し、シェイプアップやストレス解消に効果的です。

他にもたくさんの教室を実施しております。詳細はSUBARU総合スポーツセンターのウェブサイトをご覧ください。
https://mitakagenki-plaza.jp/sports/

お申し込み方法

【往復はがき・WEB】申込受付期間：6月5日（月）～6月18日（日） 往復はがき申込

＊抽選：定員を超える申し込みがあった場合、抽選となります。
＊内容が変更になる場合がありますので、詳細はSUBARU総合スポーツセンターのウェブサイトをご覧ください。

WEB 講座申込システム［https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/］から、お申し込みください。

往復はがき 往復はがき（1教室1人1枚）の返信用表面に住所・氏名、裏面に希望クラス・曜日・時間、参加者氏名（ふりがな）、性別、年齢、学年、電話番号、参加回数等を記入し、「SUBARU総合スポーツセンター」宛てに応募してください。
締切：6月18日（日）必着 ＊記載内容に不備がある場合は無効となります。

【持ち物】**水泳教室**：水着、水泳帽、ゴーグルをご持参ください。
その他の教室：動きやすい服装、汗拭きタオル、室内用運動靴、水分補給用ドリンク等をご持参ください。
（一部の教室で室内用運動靴を使用しない場合もあります。）

●最少人数：申込者が5名以下の場合、開催が中止になることがあります。
●注意事項：心臓病、高血圧、その他現在治療されている方は、医師と相談の上お申し込みください。

申込・問合せ **SUBARU総合スポーツセンター** Tel: 0422-45-1113
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ内
開館時間：9:00–22:00　休館日：毎月第4月曜日（第4月曜日が祝日の場合は翌日）

『みたか学』(地域学) 開講記念講演会

生涯学習センターでは、三鷹市を新たな視点で切り取り、新しい可能性を見つける、その名も『みたか学』を7月から順次、開講いたします。

これを記念して、どなたでも無料でお気軽にご参加いただける講演会を開催いたします。講師には、三鷹市在住で「孤独のグルメ」原作者として知られる久住昌之さんをお迎えし、「ふらっと」訪ねる街歩きのポイントを語っていただきます。

日ごろ見慣れた街並みも、視点を少し変えると、新鮮な輝きを放ってくれるかもしれません。皆さまのご来場をお待ちしております。

ふらっと訪ねるまち歩き
～三鷹（みたか）編～

6月11日（日） 14:00–15:30（13:30開場）

入場無料　事前申込不要　定員：**120名**（先着制）

＊入場整理券を当日13:00から、生涯学習センターで配布します。

講師：**久住 昌之**（エッセイスト・漫画家）

会場 **三鷹市生涯学習センター ホール**
（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階）

久住 昌之　くすみ まさゆき

1958年生まれ、東京都出身。1981年、原作・久住昌之、作画・泉晴紀のコンビ「泉昌之」で書いた短編漫画『夜行』でデビュー。実弟・久住卓也とのユニットQ.B.B作の『中学生日記』（青林工藝舎）で、第45回文藝春秋漫画賞を受賞。根強い人気を保つ谷口ジローとの共著『孤独のグルメ』（扶桑社）は、フランスを始め各国で翻訳出版されている。またドラマ化された『孤独のグルメ』は現在season6まで続く大ヒットシリーズになっており、その劇中音楽も制作している。

みたか学とは
～三鷹を知り、育み、つくる～

三鷹市民等の皆さんが生涯学習を通して三鷹の魅力や可能性、特色を「知り」、三鷹への愛着や誇りを「育み」、「まちづくり」へとつながる『学びと活動の循環』の定着を目指して、生涯学習センターが開講する地域学講座です。

大沢の里

みたか学・第1弾
～文学のまち・三鷹を知る～

生涯学習センターにおける文学講座の皮切りとして、また「みたか学」第1弾として、三鷹ゆかりの文学者の中から、日本近代文学に名を刻む3人の作家（武者小路実篤、山本有三、太宰治）を取り上げ、その創作活動を中心にご紹介します。

山本有三

所蔵・写真提供：三鷹市山本有三記念館

日時	内容	講師
7月8日（土） 14:00–15:30	三鷹と文学（総論）	日本大学文理学部 教授 紅野謙介
7月15日（土） 14:00–15:30	山本有三・生涯とその作品	評論家 武藤康史
7月22日（土） 14:00–15:30	武者小路実篤・生涯とその作品	武者小路実篤記念館 主席学芸員 伊藤陽子
7月29日（土） 14:00–15:30	太宰治と三鷹	東京大学大学院 教授 安藤 宏

会場 **三鷹市生涯学習センター 学習室**（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階）

定員：30名 ＊定員を超えた場合は抽選　**受講料：2,000円**（全4回）＊1回ごとの申し込みはできません。

申込期間：6月2日（金）～6月23日（金）

申込方法：生涯学習センター窓口に直接お越しいただくか、講座申込システムからお申し込みください。

往復はがき申込　＊往復はがき（講座名、氏名、住所、電話番号、年齢を記載）でも申込可。
詳細は下記までお問い合わせください。

小中学生対象

チャレンジ！ 陶芸講座

生涯学習センターで活動する陶芸自主グループの皆さんを講師に迎えて開講する、小中学生を対象とした陶芸講座です。全5回で1つの作品を完成させます。

7月8日（土）・15日（土）・29日（土）・8月5日（土）・6日（日）　各日10:00–11:30

対象・定員：三鷹市在住・在学の小中学生24名　材料費：300円

会場：三鷹市生涯学習センター 創作室1（三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階）

＊6月5日（月）から14日（水）までに生涯学習センター窓口へ直接お越しいただくか、電話またはパソコン（講座申込システム）でお申し込みください。

申込・問合せ **三鷹市生涯学習センター**　Tel: 0422-49-2521
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ4階
開館時間：9:00–22:00　休館日：毎月第4月曜日（第4月曜日が祝日の場合は翌日）
【講座申込システム】https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp

三鷹市芸術文化センター 風のホール

オーケストラ・リベラ・クラシカ 【共催事業】
6月24日(土) 15:00開演 チケット発売中 全席指定
会員 A席シングル4,900円・A席複数*1席当たり4,500円
B席シングル4,100円・B席複数*1席当たり4,000円
一般 A席シングル6,000円・A席複数*1席当たり5,500円
B席シングル5,000円・B席複数*1席当たり4,500円
U/U席2,000円
(中学生以上25歳以下はエリア限定・70歳以上はどのエリアでも可)
子供券2,000円(小学生以下。保護者同伴の場合のみ)
＊複数券：取り扱いは窓口・電話販売のみ
(同時に同じ券種を2枚以上購入の場合)

リハーサル見学会 6月23日(金) 16:00–17:00 申込受付中

フランチェスコ・トリスターノ
ピアノ・リサイタル
▶P1
7月9日(日) 14:00開演 チケット発売中 託児あり

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
第75回定期演奏会
7月29日(土) 15:00開演 チケット発売中 託児あり
全席指定
会員 S席5,400円・A席4,500円
一般 S席6,000円・A席5,000円
＊U-23(23歳以下)3,500円
●三鷹市内在住・在学の小学生から高校生2,000円
会員・一般券ご購入者と同伴の場合のみ適用(電話予約のみ)

リハーサル見学会 7月28日(金) 14:00–15:00 申込受付中

サヴァール・トリオ
〜ケルティック・ヴィオール
▶P2
9月16日(土) 15:00開演 チケット発売中 託児あり

アンサンブル・ウィーン＝ベルリン
10月1日(日) 15:00開演 チケット発売中 託児あり
全席指定 会員 S席5,400円・A席4,500円
一般 S席6,000円・A席5,000円
＊U-23(23歳以下)3,500円(A席限定)

アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン)
＆セドリック・ティベルギアン(ピアノ)
10月8日(日) 14:00開演 チケット発売中 託児あり
全席指定 会員 S席4,500円・A席3,600円
一般 S席5,000円・A席4,000円
＊U-23(23歳以下)3,000円

New!

アレクサンダー・クリッヒェル
ピアノ・リサイタル
▶P3
12月2日(土) 15:00開演 託児あり
チケット発売日 会員6月7日(水)/一般6月13日(火)

三鷹市芸術文化センター 星のホール

CINEMA SPECIAL **三回忌・原節子**
昼の部11:00/夜の部16:00上映開始
▶P9
6月10日(土) チケット発売中
『母の曲(総集篇)**』『わが青春に悔なし』**

New! **7月22日(土)**
『安城家の舞踏会』『晩春』
チケット発売日 会員6月8日(木)/一般6月9日(金)

桂宮治 神田松之丞 二人会 [完売]
6月11日(日) 14:00開演

第17回 太宰を聴く 〜太宰治作品朗読会〜
朗読 リリー・フランキー [完売]
6月16日(金) 19:00開演 託児あり

柳家さん喬 独演会
6月24日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演
全席指定 各回 会員2,700円/一般3,000円/
学生2,000円/高校生以下1,000円

立川志らく 独演会 [完売] 託児あり
7月8日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演

三鷹のこども寄席 その18
柳家喬太郎さんの落語で、大笑いするのだ！
▶P13
7月9日(日)
●未就学児の回 **11:00開演** ＊0歳から入場可 [完売]
●小学生以上の回 **14:00開演** 残席僅少
チケット発売中 託児あり

関連企画 **"未就学児の回"の案内係の小学生募集!!**
7月9日(日) 9:30–12:30 申込受付中
申込締切 6月20日(火)消印有効

柳家喬太郎 みたか勉強会 [完売] 託児あり
7月15日(土) 昼の部14:00/夜の部18:00開演

古今亭菊之丞 独演会 チケット発売中 託児あり
7月23日(日) 14:00開演
全席指定 会員 2,700円/一般3,000円/
学生2,000円/高校生以下1,000円

New!

土田英生セレクション
vol.4『きゅうりの花』 託児あり 7/29のみ
▶P5
7月28日(金)〜8月6日(日) 全11公演
チケット発売日 会員6月23日(金)/一般6月24日(土)

New!

劇団ままごと『わたしの星』 託児あり 8/19、8/23のみ
8月17日(木)〜27日(日) 全12公演
チケット発売日 会員6月23日(金)/一般6月24日(土)
▶P7

New!

桃月庵白酒 独演会
9月2日(土) 14:00開演 託児あり
チケット発売日 会員6月17日(土)/一般6月22日(木)
▶P11

New!

柳家権太楼 独演会
9月24日(日) 14:00開演 託児あり
チケット発売日 会員6月17日(土)/一般6月22日(木)
▶P11

New!

柳亭市馬 独演会
10月15日(日) 14:00開演 託児あり
チケット発売日 会員6月17日(土)/一般6月22日(木)
▶P12

みたか井心亭

寄席井心亭 柳家喬太郎 [完売]
6月14日(水) 19:00開演

寄席井心亭 立川志らく [完売]
11月1日(水) 19:00開演

寄席井心亭 柳家花緑 [完売]
11月8日(水) 19:00開演

寄席井心亭 林家たい平
11月15日(水) 19:00開演 チケット発売中

New!

寄席井心亭 柳家喬太郎
12月20日(水) 19:00開演
チケット発売日 会員6月13日(火)/一般6月14日(水)
▶P12

三鷹市美術ギャラリー

▶P4
色あせない風景 滝平二郎の世界 展
7月2日(日)まで開催中
10:00–20:00(入館は19:30まで)

関連企画 **小学生対象ワークショップ**
変身!! ひっくりかるた [申込締切]
6月3日(土) 10:30–15:30

太宰治文学サロン

▶P16
太宰治文学サロン企画展示
最晩年作「犯人」と「如是我聞」
6月6日(火)〜10月9日(月・祝) 10:00–17:30

太宰治作品朗読会 第86回
出演 中村彰男、山本郁子
6月16日(金) 18:00開演
申込締切 6月6日(火)必着

太宰治作品朗読会 第87回
出演 中村雅子
▶P16
7月21日(金) 18:00開演
申込締切 7月11日(火)必着

太宰治作品朗読会 第88回
出演 八十川真由野
▶P16
8月18日(金) 18:00開演
申込締切 8月8日(火)必着

SUBARU総合スポーツセンター

7月開講スポーツ教室
▶P17
開催期間 7月16日(日)〜9月30日(土)
申込期間 6月5日(月)〜6月18日(日)

三鷹市生涯学習センター

『みたか学』(地域学)開講記念講演会
ふらっと訪ねるまち歩き 〜三鷹(みたか)**編〜**
講師 久住昌之 入場無料(事前申込不要・整理券配布)
▶P19
6月11日(日) 14:00–15:30

▶P20
みたか学・第1弾
〜文学のまち・三鷹を知る〜
7月8日〜29日 毎週土曜日(全4回)
14:00–15:30
申込期間 6月2日(金)〜6月23日(金)

後援事業

若手・ベテラン演奏家と音大生によるオーケストラが多彩な音楽を熱演!
アンサンブル・ボーノ！ 第7回演奏会
6月30日(金) 19:00開演
会場 三鷹市芸術文化センター風のホール
全席自由 前売3,000円/
当日3,500円/
割引券2,500円＊
＊割引券：高齢者、学生、三鷹市在住・在勤・在学の方

津田泰孝(指揮)

出演 伊藤寛隆(クラリネット独奏)、鈴木一志(ファゴット独奏)
アンサンブル・ボーノ！(オーケストラ) ほか
♪曲目 シュトラウス：クラリネットとファゴットのためのコンチェルティーノ
伊福部昭：土俗的三連画
ベートーヴェン：交響曲第5番ハ短調「運命」

主催・お問い合わせ
アンサンブル・ボーノ！ 運営委員会
電話 090-5388-7015(池田)/090-8497-6628(津田)

チケットプレイガイド
チケットぴあ Pコード326-441(前売のみ取り扱い)
三鷹市芸術文化センター(前売・割引券/窓口販売のみ取り扱い)

＊U-23利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。 ＊学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。
＊公演内容等は変更になる場合もございます。 ＊公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。

＊営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。
＊情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もございますので、ご了承ください。 ＊次号のMARCL+136は7月11日発行予定です。